



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA



3月 2023年 通巻 399号

今月のテーマ:「CS、グリーンプロジェクト ワイズメネット」

会長	東 裕二	クラブ会長主題 「だれかのためにできることを」
副会長	小関京子	国際会長 ウルリック・ラウリドセン ‘Let Your Light Shine’ 「輝かそう、あなたの光を」
書記	宮地輝子	アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen(台) Beyond Self and Be The Change
会計	金本伸二郎	東日本区理事主題 佐藤重良 (甲府 21) 「未来に向けて今すぐしよう」
		関東東部部長主題 工藤大丈 (ベイサイド) 「新規技術 (テクノロジー) を縦横に 駆使し、効率を重んじる。すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」

## 今月の聖句

「何をするにも、人に対してではなく、  
主に対してするように、心から行いなさい。」

コロサイ書 3章 23節

## 3月例会プログラム

3月の例会は埼玉 YMCA 50周年記念式典  
3/21 (火) をもって3月例会とされます。

### 埼玉 YMCA 50周年記念式典

日時: 2023年3月21日 (火・祝)

午後2時~4時30分

(開場、13時30分)

会場: 日本パプテスト浦和キリスト教会

詳細については

- ・「50周年記念式典ご案内状」の添付ファイルをご覧ください。
- ・出欠の都合を3月10日までに本部事務局までお知らせするようお願いいたします。

## 2月例会

所沢クラブ会員7名・メイキャップ1名・ゲスト2名  
計10名

## 終活の第一歩

小林 茂和

所沢ワイズメンズクラブの会員になり1年余り経過しました。

あまり真面目に会議には参加していませんが、今後ともよろしくお願ひします。

私事になりますが、弁護士業務に従事して30年を超えましたが、身近な相続に関連して常日頃感じている私の持論を以下に述べますので、御参考にして頂ければ幸いです。

遺産を相続できる者、つまり、相続人の範囲や相続する割合については、法律で定められていますが、遺言書を作成することによりこれを変えることができます。

相続人以外の第三者(相続人の配偶者とか孫等)に遺産を取得させることを希望する場合には、遺言書を作成する必要があります。

遺言書を作成する際、相続人が遺産を取得する場合には「相続させる」という表現を、相続人以外の者が取得する場合には「遺贈する」という表現を使用しますが、例えば、私の財産のうち半分を〇〇〇〇(氏名)に相続させる(又は遺贈する)という形で割合を変更する場合と、特定の財産(〇〇所在の土地〇〇㎡とか、〇〇銀行〇〇支店の私名義の預金等)については〇〇〇〇(氏名)に相続させる(又は遺贈する)と具体的な財産を取得させる場合とがあります。

また、遺言書は何度でも作成でき、作成日が新しい遺言書がその効力を生じますので、遺言者にとっても心置きなく作成できます。

なお、遺言書には、公証役場において作成する場合と自分で作成する場合とがありますが、自分で遺言書を作成する場合には、財産目録以外の部分については必ず手書きで作成する必要があります。

また、遺言書で「遺言執行者として〇〇〇〇(氏名)を指定する」と記載することにより、本人の死亡により遺言執行者に就任した者が、遺言書の記載内容に不満をもつ相続人がいた場合でも、遺言書の記載内容に従って財

産を移転することができます。

このように、遺言書を作成し、遺言者の意思を明確にすることにより、遺産相続に関する紛争を予防することができます。

皆様方におかれましても、最近では終活が流行っておりますが、親族関係の紛争回避の一方法として、遺言書を作成することを御検討いただければと思います。

## 例会報告 黒田 和代

今回は、二人のユースリーダーから報告がありました。一人目は、熊本 YMCA の阿蘇キャンプ場での研修に参加した福田さんです。福田さんが参加した研修は「LOVE みんなでわをひろげよう」というテーマで、2022年9月23日から2泊3日で行われました。全国からユースリーダー66名が参加し、とても充実した内容だったようです。特に今回は、社会学者の宮台真司先生の基調講演があり、いろいろ貴重なお話が聞けたそうで、報告を伺いながら大変うらやましく思いました（宮台先生が暴漢に襲われたのは、この研修の2か月後です）。

宮台先生の講義の中で「過剰包摂社会」という言葉があり、福田さんも興味を持ったとのことでしたが、内容はなかなか難しそうでした。私も気になり、ネットで少し調べてみました。「過剰包摂社会」という言葉は、ジャック・ヤングというイギリスの社会学者の著書に出てくる言葉でした。昔と違い、貧富の差や社会的な立場が混沌としてわかりにくくなっている現代の状況を「過剰包摂社会」と言い表したようです。「過剰包摂社会」では、同じ問題を抱えた人同士が連帯しにくく、一緒に問題解決に取り組むような活動が起こらない、発展しないことになり、結局、問題は解決されないという状況になるという話らしい……まさに、今の社会はその通りだと思います。

「過剰包摂社会」の話をする中で、宮台先生はユースリーダーの皆さんに何を伝えたかったのでしょうか。ユースリーダーの皆様一人ひとりにちゃんと伝わり、これからの人生に役に立つといいなあと思いました。

二人目は、山中湖センターで「東日本ユースボランティア・リーダーズフォーラム」に参加した新井さんです。フォーラムは、2022年の9月30日から10月2日の日程で行われました。

福岡のYMCAのスタッフで保育園を運営されている小倉さんが講師となり、講義とワークショップを通じて、ボランティアリーダーの在り方について、考えを深めたとのことでした。

「(ボランティアリーダーは)何を求められているのか」「自分を知る→自分と向き合う→開かれていく、出会う」ということを、さまざまな角度から掘り下げて、いろいろな気づきがあったようです。

お二人とも、若さいっぱい、得るものがたくさんある経験をなさったようです。今後の活躍が楽しみです。得られたものは、それぞれご自分のこれからの人生に大

いに役立てていただきたいと思います。

例会の最後に、会員の大澤和子さんより、CS活動についての提案がありました。内容は「テレジンを語り継ぐ会」代表の野村路子さんをお招きし講演会を開催したいというもので、関東東部のCS活動助成金に応募して資金を確保したいというものでした。例会参加者全員の



賛同があり、今後、大澤さんが中心となり実施にむけて取り組むことになりました。

（「テレジンを語り継ぐ会」についての詳細は会のHPをご覧ください <https://www.teresien.jp/>）

## YMCA報告 大田 昌孝

寒い日、暖かい日が繰り返されて、これから季節が変わってまいります。いよいよ三月になると卒業式の季節ともなります。YMCA キッズアカデミーの子ども達も巣立ちの季節を迎えます。小学生になり一段と成長してくれる事を願っています。現在各センターにおいて ポジティブネット YMCA 国際協力募金 トルコ・シリア大地震緊急支援募金を行っております。ご来館の際は告知を確認いただければと存じます。

## ワイズ報告 東 裕二

- ・2/7にZOOMにて準備例会を開き、野村路子さんの講演を子供たちや若い世代に向けて開催したいと決まりました。日時や内容など具体的には決まっていますが、6月末の今年度中に開催したいと考えています。実行委員長は大澤さんで今後進めていきます。
- ・2月4日5日の両日、第3回東西日本区交流会が、新神戸のANAクラウンプラザホテル神戸で430名を超えるワイズメンが全国から集まり開催されました。

## 今後の行事予定 東 裕二

- |                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 03/01 (水)       | ブリテン発行(一面:小林茂和)                      |
| 03/21 (火)       | 埼玉YMCA50周年記念式典(3月例会として割り当て)例会報告:小林恵子 |
| 04/01 (土)       | ブリテン発行(一面:小林勉)                       |
| 04/22 (土)       | 4月合同例会(川越散策) 例会報告:小林茂和               |
| 05/01 (月)       | ブリテン発行(一面:須田聖子)                      |
| 05/13 (土) 18:00 | 5月例会 例会報告:小林勉                        |
| 06/01 (木)       | ブリテン発行(一面:澁谷弘祐)                      |
| 06/3・4 (土・日)    | 第26回 東日本区大会                          |
| 06/10 (土) 18:00 | 6月例会 例会報告:須田聖子                       |